

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.6.15 No.232 連絡先 FAX 042-555-1911



## MV-22 オスプレイ 3機が横田基地に飛来 6月4日～8日

米軍は6月3日から6日まで東富士演習場でMV22 オスプレイ 2機が離着陸訓練をするとしていました。3日は天候の都合で訓練中止です。

4日、9時58分に1機、横田基地に着陸、さらに2機が17時10分に横田基地に着陸しました。

18時32分1機(虎03)が横田を離陸。18時42分東富士に着陸。その後、初めての夜間離着陸訓練をおこないました。地上には目印があるように同じ地点に着地。21時25分に23回目の離陸で横田に向かう。21時37分横田基地に着陸。

5日は天候が悪く訓練中止。6日13時7分、MV-22B オスプレイが3機(虎02、虎03、虎06)同時に離陸、13時34分に帰ってきました。13時20分頃、静岡県小山町で目撃されたそうです。

8日10時05分、MV-22B オスプレイ 3機が同時に離陸しました。(写真は、6月6日撮影)

ハワイの墜落事故の原因究明もないまま、事故後初の飛来でした。2機の予定が3機飛来し、4日は初の夜間訓練に1機が参加(予定は2機)。6日は3機で訓練しようとしたのでしょうか。

6日(土)、青梅市の小学校の運動会で、オスプレイ 3機の飛行が目撃されました。



## CV-22 オスプレイとMV-22 オスプレイはどこが違うのか

政府の説明資料(5月15日持参)には、CV-22は、MV-22と機体構造及び基本性能(エンジン、飛行システムの基礎)が同一だが、CV-22は、MV-22とは従事する任務が異なるので、MV-22にはない地形追従装置・夜間飛行能力の強化・電子妨害機能・レーダー探知機能があると書かれています。



CV-22の役割は、各種事態において、迅速に米軍特殊作戦部隊を作戦地域まで輸送、と書かれています。この特殊作戦部隊とは、「沖縄のトリイ通信施設に所在する陸軍第一特殊部隊群第一大隊、沖縄嘉手納基地に所属する空軍第353特殊作戦群、それからグアム海軍基地に所属する第一海軍特殊部隊など」と国会で政府参考人は答えています。

横田基地では2012年からパラシュート降下訓練が盛んにおこなわれましたが、これら特殊作戦部隊だったのででしょうか。異常な訓練は、CV-22の配備に繋がっていたのですね。

## 横田基地がアメリカの地球的規模の特殊作戦部隊の出撃拠点になるのか

米軍の準機関紙「星条旗」の5月16日付けには「米軍の特殊部隊が5月15日の夜、シリア国内での襲撃でIS幹部を殺害」。さらに、国防当局者がAP通信に明らかにしたのは、オスプレイとブラックホークヘリに搭乗してイラクから移動した米陸軍デルタフォース部隊は、かなり激しい銃撃戦を行った、襲撃で戦闘員約12名を殺害した、と書かれていたそうです。

横田基地がこういう地球的規模のアメリカの特殊作戦部隊の出撃地となっはなりません。

## 在日米軍司令官が交代 ジョン・ドーラン中将が新司令官に (No. 232 の裏面)

6月5日(金)、在日米軍トップの司令官交代式が米軍横田基地で行われました。新たに司令官に就任したドーラン中将は、ガイドラインの改定など日米同盟が強化される中、「我々は歴史的な出来事を目撃している」と述べた上で、「強固な日米同盟により、不確定な未来に待ち受ける困難を絶好の機会に変えることができる」と語りました。

(写真は新司令官のドーラン空軍中将(右)とロビンソン太平洋空軍司令官)



### 普天間の騒音 国に約7億円の賠償命令

米軍普天間基地の周辺住民約2200人が軍用機の騒音で著しい被害を受けていると国に損害賠償を求めた裁判で、那覇地裁は6月11日、国に約7億5400万円の賠償を命じる判決を言い渡しました。「住民たちの被害は限度を超えている」としています。(写真:普天間基地に並ぶオスプレイ)



### 「除去すべき普天間基地の危険性」とは「市街地の真ん中にある」こと

「世界一危険な基地」といわれる普天間基地。1945年6月頃、米軍が本土決戦に備えて普天間飛行場の建設を開始しました。戦争が終わったら、無条件に返すべき基地なのです。それを1996年12月の「SAC0最終報告」で、「代替施設が完成し運用可能になった後、返還する」と決めて、辺野古に新基地建設を強行しようとする日米政府、盗人猛々しいとはこのことです。

5月25日、衆院の決算行政監視委員会で日本共産党の宮本徹議員が、CV22オスプレイの危険性について政府の認識をただし、米軍横田基地への配備強行は「許されないと迫りました。

宮本議員はさらに「除去すべき普天間基地の危険性とは何か」とたどしたのに対し、中谷大臣は「市街地の真ん中にある」と答弁。宮本議員は「普天間の『危険性の除去』というなら、同じく住宅密集地にある横田基地の危険性も除去すべきだ」と迫り、「大臣が心を寄せるべきは米国ではなく、基地負担に苦しむ住民だ」と主張しました。中谷大臣は、「住民に必要性を説明していく」と繰り返したそうです。「米国の戦争のため必要。我慢しろ」と説明するのでしょうか。

普天間基地のある宜野湾市は、市面積の32%以上が米軍施設(普天間、キャンプ瑞慶覧)に占められています。

東京都福生市も32%以上が横田基地にとられています。人口密度も高い。横田基地の危険性は除去すべきで、危険なオスプレイは配備すべきではありません。

	人口密度	基地の面積を除くと
宜野湾市	約4,906人/km <sup>2</sup>	約7,254人/km <sup>2</sup>
福生市	約5,718人/km <sup>2</sup>	約8,458人/km <sup>2</sup>

## CVオスプレイは横田にも日本のどこにもいらない 戦争法案を廃案に

### 6月21日(日)緊急抗議集会

13:30~抗議集会 福生フレンドシップパーク

14:45~デモ行進 福生駅近くの公園まで

毎月第3日曜日の横田基地の座り込み行動(今回第75回)は、横田基地へのCV22オスプレイ配備計画の撤回と「戦争法案」の廃案を要求する緊急集会です。誘い合ってご参加ください。

